



生涯学習
だより

「初夏の文化祭」実施

6月7日(土)・8(日)の両日に
わたり、文化協会会員による「初夏の
文化祭」が文化ホール、富来活性化セ
ンターを会場として実施されました。
各種展示の会場となった富来活性化セ
ンターでは、菊花・陶芸・書道・絵画・
短歌・俳句・川柳・読書会・星の会・
水墨画・写真・陶芸の各団体の会員作
品が一同に展示され、訪れた町民から
感嘆の声が聞かれました。

文化ホールでは8日(日) 芸能アト
ラクションが行なわれ、大正琴の懐か
しい響きで幕を開け、民謡と踊り、威
勢のよい木遣唄や太鼓の勇壮な響き、
琴のしらべや合唱、朗々とした詩吟や
舞などが披露され、魅力あふれるス
テージに、観客の皆様からは暖かい拍
手が送られていました。

また、併せて文化ホールでは、色彩
豊かな盆栽・生花の展示も行われ、お
茶会には、抹茶・煎茶が振る舞われま
した。



展示風景



アトラクション風景



お茶会



【お問い合わせ】
志賀町教育委員会
生涯学習課
☎32-9350

桜の苗木を配布します

石川県健民運動推進本部では地域における桜の名所づくりと
桜の美しい石川県づくりをめざして桜の苗木を配布します。

- ・ 配布対象 地域団体、各種団体、学校、公民館、公的施設等（一般の方や企業含む）
- ・ 植樹場所 多くの方の目に触れ、桜をとおして地域に潤いを与える場所
- ・ 配布時期 桜苗木植樹適正時期の11月中旬以降
- ・ 配布苗木 樹高 1.2m～1.5m
幹直径 1cm程度
樹種 染井吉野 小松乙女 思川 神代曙 一葉
陽春 大漁桜 関山 紅華 花笠（以上10種類）
- ・ 申込方法 申し込み用紙は 志賀町教育委員会
生涯学習課（☎32-9350）
富来活性化センター（☎42-0500）にあります。
生涯学習課で取りまとめて、石川県健民運動推進本部へ申し込みをします。
- ・ 申込期限 平成20年7月25日（金）



※桜の苗木は無料配布ですが申し込み時に植栽計画図、植栽後に報告書、写真が必要です。

21th ジャパンテント
留学生受入家族(ホストファミリー) 募集



ジャパンテントとは

日本で学ぶ各国からの留学生、研修生を石川県に招き、ホームステイや体験活動などを通し、交流をおこないます。

日程 平成20年8月21日(木)から
8月24日(日)までの3泊4日



留学生との交流に興味のある方、「ホストファミリーをしてみたい」とお考えの方は、お気軽に下記までお問い合わせください。(申込期限 7月10日(木)まで)

問合せ、申込先：志賀町教育委員会 生涯学習課 電話32-9350

放送大学入学生募集

放送大学はテレビ等の放送で授業を行う通信制の大学です。只今、平成20年10月入学生を募集しています。多様なニーズに応える約300の科目から自由に学べます。資料を無料送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

募集学生の種類

—教養学部—

科目履修生(6ヶ月間在学习し、希望する科目を履修)

選科履修生(1年間在学习し、希望する科目を履修)

全科履修生(4年以上在学习し、学士の学位の習得を目指す)

—大学院—

修士科目生(6ヶ月間在学习し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学习し、希望する科目を履修)

受付期間

平成20年7月から8月31日まで

資料請求(無料)・問合せ先

放送大学石川学習センター

Tel 076・246・40209

放送大学ホームページ

<http://www.u-air.ac.jp>

志賀町文化協会総会

「功労賞として4名を表彰」

6月5日(木) 志賀町文化ホール小ホールにおいて志賀町文化協会の総会が行われました。

総会の冒頭では、永年文化協会に功労のあった4名の方々に功労者表彰が贈られ、受賞者を代表して菊花会の新田ふみ子さんが「今後も文化の発展のため力を尽くして活動していきたい。」と謝辞を述べられました。また、20年度の事業計画も審議され、「初夏の文化祭」や「合同競技大会」の実施が決められました。

表彰を受けられた方は次の方々です。

【功労賞】

坂野かほるさん(貝がら川柳社)
新田ふみ子さん(菊花会)
東 良雄さん(領家町曳山木遣)
大家ふさのさん(はまなす民謡会)



謝辞を述べる
新田ふみ子さん

《詩のひろまり 夏の増刊号》

志賀短歌会

田を終えて帰る農夫の背を照らす夕日の光り
田の面の明り
中田 和子
眼の手術成功と我の枕辺に告げたる医師に
両手合わせぬ
吉崎てい子
夫と行く花の吹雪を背なに受け車椅子押す
吾頑張りし
浦野タツ子
丘の上の一年過ぎし廃校にソメイヨシノ今
満開になり
田端 正敏
身に合わせぬシャンソンなれど年古りて聞けば哀歎
せつせつ伝わる
福島 信子
冬越しをなして庭に背伸びするゼラニウムの花
鮮やかに咲く
向永いみ子
あの道やこのみち押され過ぎたれどたしかな幸は
今の日だまり
龍摺 澄子
タケノコのレシビを捜す君が居りモニター
居りし夕べ
伏谷美津子
初探れをもちひし今朝のわかめ汁さみどり香りて
臓に沁む
竹内 愛子
居眠りにかすかな匂ひ覚え醒む新刊のオビ解く
人の憐れる(病院にて)
安中加奈子

貝がら川柳社

土に生き人生かけて土愛す
優しさと哀しさ過疎の土は持ち
いい土に感謝ミミズにも感謝
たがやせば土くろくると息をする
西尾 善春
小松 彰一
山本 静香
木村よし子

ストレスを癒してくれる土いじり
休日には花や野菜と土いじり
帰りゆく孫に手を振り目が潤む
日帰りの旅は楽しい明日の糧
ふるさとの帰りの荷物倍になり
祭りだよ帰ってこいよ古里へ
帰りたい遺骨が叫ぶ遠き島
器用さが仇ともなつて勇み足
初孫のカタコト言葉大人気
りハビりに再起を賭ける老い独り

西浦川柳会

ムジナの目暗い夜でも月いらす
月例会知恵の競いもまた楽し
若き日のロマンは月に覗かれた
月給は仕事の割に押さえられ
入月と漁り火映える明けの海
谷もあり人生月日過ぎてゆく
月明かりけもの空腹満たす夜
孫上京高い家賃でねを上げる
若い頃月に願いを賭けた恋
ポランテア高いハードル諦める
高額者いい後期の高齢者
免許証返還しようか油高
バーゲンの安い買い物高くつく
風車が青空高くそびえ立つ
円高にプラスマイナス悩まされ
あれこれと計算高い主婦の欲
頭が高く低い常識皆困る
腰のびず高いところは孫頼む

坂野かほる
吉村とし子
前田 志津
坂下三三子
石田 雪路
須曾 正子
遠藤美朝子
木村 貞涼
須磨ひろし
小松 糸葉

川上 富子
小松 康子
平島 凡
高島 和子
古森 勝
長田千枝子
林 ちよ子
上田 利雄
能登 秀雄
すまいさお
芝山 照子
みやみさかし
中畑 良則
中屋アキ子
窪 洋子
田畑 幸子
西尾 海春
赤 ぶじ

「門」土筆の会

道普請天道虫を見つけたり
御堂よりのぞむ西方麦の秋
深呼吸いくたびしても明易し
麦秋や鎌で刈りたる日の遙か
定年の二階暮らしや柿若葉
羅にさりげなく襟直されし
一服の田植仲間と呼ばれけり

安田紀美恵
前川美代子
池田 玲子
堀 綾子
高岩みつる
堀内 一也
深美 白馬

■コラム■

志賀俳壇はまなす句会 吉田 外江

俳句は五・七・五調に季語が入る短い詩です。うっとりゆく季節の流れに、こころを詠む。季語は俳句のいのちと言いい句のポイントになります。新鮮な発見により、身に触れる感性を活かし一句にしてみませんか。

俳句はひとりでも良し、仲間と学べばなお楽しい。その広さと深さは無限とします。むずかしい言葉はいりません。

平生使い馴れた日本語でわかりやすく、そしてやさしく・

みんなで出かけたたり、勉強し合ったり。どうぞ気楽に仲間入りしてください。お待ちいたしております。

水打ちて迎ふる今日の句座の友

富来俳壇

蛩があそこあそこ妻の指
停止して待つ救急車麦の秋
よさこいの歌が風呼び花菖蒲
藤色に心を染めし藤の棚
植えし田の水面にうつる空の青
母と子の声生き生きと若葉風
梅雨に入る更地となりし隣家かな
俯むきて咲く性悲し黄牡丹
棟上げや仰ぐ高きに柿若葉
いそいそと母の形見の夏の帯
一輪のバラに癒さる吾が狭庭
海に向く浜昼顔や漁り舟
母の日や三個も届く宅急便
青き菜莢仮設の人と話す朝

はまなす句会

吊橋の静かなゆれや杜若
蓬茶をいれて気易き集ひかな
奥院の開け放ちあり花あやめ
鷺一羽水田に映り動かさる
帰る可き家こそ良けれ昼寢覚
髪切りし衿足匂ふ青葉風
白ぼたん活けて静かや女寺
老鷺の声のしげしや奥の院
夏燕せわしく鳴ける巢にかえる
いか釣りの灯りちらほら海の町
すかんぼに思ひ馳せ居り幼な友
夕焼けや昔むかしの童唄
五月雨やお茶屋通りの蛇の目傘

須广ひろし

森下いわお

冨地 重内

服部 頼次

丸田 歩拙

大乗 春風

川田まさを

安井ふさの

長根尾郁恵

須广とみ子

藤沢 鶴女

浅野 照子

新沢 和子

小島 史子

土田 清枝

細川ふじ子

坂下 豊子

淵端 三之

土田まつい

大島 朋子

吉田 外江

藤勝勇美子

中田 淑子

裏田 弘美

北谷 芳子

鍋岡美智子

土田エミ子

俳句・川柳

菖蒲の湯孫とつかりし若き日よ
紫陽花の色も優しや小糠雨
これ御銭孫が訝る二千円札

短歌

山畑木の間に桐の花見えて丹精込めた
豌豆を挽く
田や山も青葉繁りてさわやかに小鳥さえずり
木の芽つつき
若き日の五訓に悖る最たるは不精にわたる
なかりしか
子離れの決心しても次の日に用もないのに
電話する私

智子

浅子

川崎

細川みさの

千里

川崎

柏谷 保之

詩・散文

「その河口、架橋の夢を捨てがたし」

榎田 純三

その川の源流は 町境の日用集落
年間、休む事無く清水を海に届ける
幾多の大小の橋を潜り抜けて
徳染橋、梨谷小山橋、よしだおおはし、
清水今江橋、船越橋、清水大橋、
米町川橋、ふちはたばし、神代大橋、
おぐらだかかくみ橋、川尻橋
日本海の入目を眺めて
明日への夢を膨らませる
この河口に兩岸を結ぶ橋を架けたい
小さな頃からの夢 半世紀
於古川、米町川の帯衣一水の神代川
山から海に注ぎ、合流の河口の橋
仮称「神代川河口大橋」
別名「ドリームブリッジ・シカ」

「高浜みなと」

山田 欣三

一 夜明け前から 船の上
出船のときに カモメが騒ぐ
あとを追うように 一羽のカモメ
ひと声高く 啼いて去る
無事で帰れと 言つような
あなたに贈る 応援歌
軽く手を振り 汐風受けて
あなた見送る 高浜みなと
風と波とが 創つたか
奇岩の多い 能登の海
海の色さえ コバルトブルー
弁天島を 右に見て
今日の漁場は 高岩岬
それとも先の 赤崎あたり
夕日を受けて 競って帰る
大漁続きの 高浜みなと
今日はお前の 誕生日
早く帰ると そっけなく
ひと言言って 背中をむける
待つた知らせ 携帯に
手編みセーター 手を止めて
鏡に向い 目立たぬように
薄く紅引き 小走りで行く
あなた迎える 高浜みなと

文芸教室 作品募集

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。紙面の制約がありますので、短歌、俳句、川柳については、一首一句、詩については、二百字以内として送付ください。

次回の文芸教室増刊は10月予定です。皆様の作品も募集しています。

送り先／〒925-0198
志賀町末吉千古1番地1
志賀町教育委員会
生涯学習課広報担当まで
※毎月8日までにお送りください。